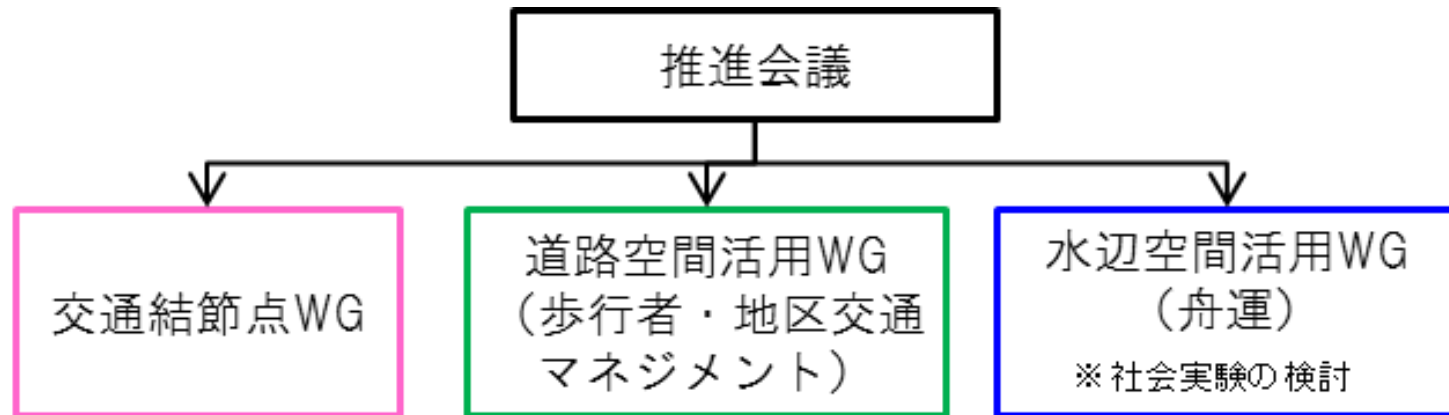


道路空間活用 ワーキンググループ(WG)の 位置づけと進め方

◇ 位置づけ

推進会議の下部には戦術を検討するためのWGを設置する。推進会議及び各WGにおける検討状況は相互に連携することとする。



※「新宿ターミナル協議会」と連携

◇ 進め方

1. 年3回程度で実施することを想定。道路空間活用WGは1回2時間程度とする。
2. 各回のWG資料や意見交換の要旨については、ホームページ等で公開するなどして、広く意見を聴取する。
3. WGで決定した事項については、各主体が具体的に実施することを前提とし、取組施策等の内容、実施主体、実施時期(ロードマップ)を決める。

※事業は、2020年オリンピック・パラリンピック大会を目途に進めるが、その後も必要に応じ継続する。

【道路空間活用WGの設置趣旨(論点)】

論点1

歩行者空間※1の創出：

歩行者空間の創出とネットワーク化

((仮称)ランブリング東京※2 戦略の展開)

論点2

地域公共交通の改善：

- ・ 地区レベルの交通政策(地区交通マネジメント)の促進
- ・ 自転車の交通体系への位置づけ

★ 現在進行している各地区・各施策の取組内容については十分にその内容を把握し、これらの動きを支援する施策展開とする

※1 歩行者空間は、歩行者天国、広幅員歩道、歩行者専用道や公開空地等もあわせた歩行による移動空間と滞留できるオープンカフェやマーケット等も含んだ空間も想定している。

※2 交通戦略推進会議(第1回)では、「東京ウォーカーシティ戦略(仮称)」としていた。